

印刷・製本業界向けの各種業務管理システムを開発・販売するピー・エス・シー(株)（本社/東京都足立区、原田敏明社長）は、安価なコストで導入可能な印刷業向け業務管理システム「刷衛門（スリエモン）」、ならびに製本業向け業務管理システム「綴之介（トジノスケ）」を提供している。同システムを活用すれば、データの二元管理により事務作業の省力化が可能になり、その時間を多能化するにより、工場全体の生産性向上にもつなげることができる。

# ピー・エス・シー

事務作業の省力化は工場全体の生産性向上に

（数十台以下）の場合は、機能限定のLiteバージョンが可能。また、オプションで「進捗管理」などの機能番号、担当者番号などをつけることができる。原田社長は印刷・製本業界に提供している。同社では、特注対応と低価格で差別化を図っているため、初期導入コスト250万円から、保守費用1万円/月から導入が可能。小規模システム（クライアント

## 印刷・製本管理システムを安価に提供

### 一元管理で生産性向上に貢献

印刷・製本業界としては、IT化が進んでいるのだ

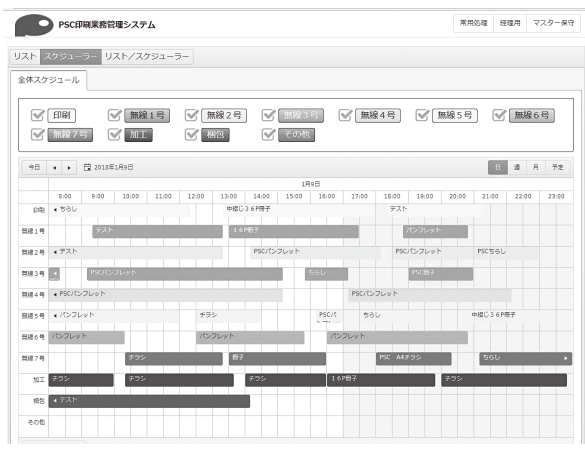
が、事務作業については部門ごとにファイルメーカやエクセルなど個別のシステムを使用し、合理化されていない会社が意外と多い。これらを一元管理することにより、二次入力、三次入力の無駄を省き、省力化を実現できる」と説明する。また、原田社長はIT

ことに、リアルタイムで進捗状況を把握することができ、日報と同じ/イラストレーターなどのファイルを入れることができるフォルダ。後々の検索したときに関連資料がすべて出てくるため、ユーザーからは便利な機能だと高い評価を得ているようだ。同社経営支援事業部は、印刷・製本業界を専門に事業再生・経営をサポートする株GIMS（さいたま市）と協力し

見積りを営業先で出すことができ、営業活動を大幅に効率化できる。原田社長は「見積りもチェックし、原価を低減するための様々なアドバイスを行いつながら、ユーザー企業の経営を全般的にサポートしていく」としており、ITによる経営を「見える化」できるシステムの提供とコンサル事業の両面でユーザー企業の経営を支援していく考えを示している。

# 働き方改革

特集



WEB 工程管理画面

支援している。同事業部では、ユーザー企業の営業や財務面の支援、IT補助金の資料作成などを基本的に「サービス」として行うことで差別化を図り、システム導入につなげていく。同事業部のコンサルタントである笠原浩照氏は元々企業が製本会社であったため、印刷・製本会社の内情を理解したコンサルが可能といえる。これにPSCの豊富な納入実績に基づいたノウハウを融合させることで、さらなる相乗効果を発揮していく。さらに笠原氏は金融機関出身であるため、金融業界の事情に精通していることも強みといえる。

原田社長は「見積りもチェックし、原価を低減するための様々なアドバイスを行いつながら、ユーザー企業の経営を全般的にサポートしていく」としており、ITによる経営を「見える化」できるシステムの提供とコンサル事業の両面でユーザー企業の経営を支援していく考えを示している。